

平成 27 年 5 月 14 日
(平成 27 年 6 月 9 日一部改正)
(平成 28 年 5 月 13 日一部改正)
気象庁地震火山部

配信資料に関する技術情報（地震火山編）第 411 号

～ 噴火速報の提供開始について～

気象庁では、平成 26 年 9 月の御嶽山の噴火災害を踏まえ火山噴火予知連絡会に設置された火山情報の提供に関する検討会の最終報告を受け、平成 27 年 8 月上旬を目途に噴火の発生事実を迅速に発表することを目的とした「噴火速報」の運用を開始します。

噴火速報は、気象庁ホームページに掲載するほか、気象業務支援センター等を通じて提供を開始する予定です。具体的な日程については、決まり次第お知らせします。

1．提供開始時期

平成 27 年 8 月上旬（予定）

2．内容

噴火速報は、以下の場合に発表します。

常時観測火山を対象に初めての噴火又は噴火警戒レベルの引き上げの検討が必要と考えられるような規模の噴火を確認した場合に、噴火発生の観測事実を、迅速、端的かつ的確にお知らせします。

< XML 電文での提供 >

噴火速報は、XML 形式で提供します。

XML 電文に関する解説資料やコード等は、気象庁防災情報 XML フォーマット情報提供ページ（<http://xml.kishou.go.jp/index.html>）の平成 27 年 5 月 14 日更新分に掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

3．提供する電文の形式

噴火速報は、次のデータ種類コードで提供します。

- ・ XML 電文のデータ種類コード名：VFVO56
- ・ 発信官署： RJTD、JPSP、JPSN、JPFK

- ・電文容量： 最大 15Kbyte 程度（非圧縮時）
- ・発信頻度： 年間数回程度

別紙 1：「噴火速報について～登山者等に対する迅速かつ的確な情報の提供～」

別紙 2：サンプル電文（XML 形式）

改訂履歴

平成 27 年 6 月 9 日 「3. 提供する電文の形式」の記述を変更しました。

平成 28 年 5 月 13 日 別紙 1 の 10 ページ目の記載を以下の通り変更しました。

<変更前>

- ・再配信の利便のために対象市町村（噴火警戒レベル 3 又は入山危険の対象市町村）を内容部（body）に入れ込むようにした。

<変更後>

- ・再配信の利便のために対象市町村（火山災害警戒地域）を内容部（body）に入れ込むようにした。

噴火速報について

～ 登山者等に対する迅速かつ的確な情報の提供 ～

気象庁地震火山部

掲載内容

- ◆ 火山情報の提供に関する検討会
 - 最終報告(情報発信の強化)
- ◆ 噴火速報の創設に向けて
 - 噴火速報の仕様について
 - 「噴火速報」と既存の情報との関係
 - 「噴火に関する火山観測報」と「噴火速報」の比較
- ◆ 噴火速報のXML電文について
 - XML電文構築のポイント
 - タグの主な構成(項目別)
 - 噴火速報のXML電文案
- ◆ 提供方法及び今後の予定

火山情報の提供に関する検討会

平成26年9月27日の御嶽山の噴火は、登山中の人々を巻き込み、多くの人命が失われました。気象庁では、今回の噴火を踏まえ、火山噴火予知連絡会 の下に火山情報の提供に関する検討会を設置し、火山の**情報提供**について課題と改善策を検討し、3月26日に**最終報告をとりまとめました**。

文部省測地学審議会の建議(昭和48年6月29日)を受けて昭和49年6月に設置(事務局:気象庁)

主な課題

わかりやすい情報であったのか

- ・気象庁が発表する「火山の状況に関する解説情報」は、観測事実を正確に伝えるものではあるが、地元の関係機関や一般の人々が、それをリスクの高まりと理解し、行動に結びつけることが出来るような内容であったのか。
- ・噴火発生等の観測事実を登山者等にわかりやすく端的に伝えることはできないか。

どのようにその情報を伝えたのか

- ・地元の関係機関と火山情報に対する認識の共有を図り、山小屋の駐在者、登山ガイド等、日頃から山と接している関係者を通じる等して登山者等への火山情報の伝達をより確実に出来なかったか。
- ・噴火発生等の観測事実を迅速に登山者等に伝えるための方策が新たに必要ではないか。

気象庁と関係機関の連携は十分だったか

- ・気象庁は火山防災に携わる地元の関係機関と連携して具体的な防災対応を十分に実施できたか。

検討体制

火山情報の提供に関する検討会

- ・学識経験者、地方公共団体の首長、利用者代表等から構成。
- ・座長は、藤井敏嗣 東京大学名誉教授。
- ・登山者、旅行者等に対する、火山活動に関する情報提供のあり方を検討。

これまでの経緯と今後の予定

平成26年	9月27日	御嶽山噴火
	10月10日	火山噴火予知連絡会の下に検討会を設置することを発表
	~ 11月28日	検討会を3回開催
	11月28日	緊急提言のとりまとめ
	12月 1日	中央防災会議 火山防災対策推進ワーキンググループで緊急提言について報告
平成27年	~ 3月18日	検討会を更に3回開催
	3月26日	最終報告をとりまとめ

火山情報の提供に関する報告(概要)

わかりやすい情報提供

- (1) 噴火警報の発表基準の公表
- (2) 火山活動の変化を観測した段階での情報提供
火山活動に変化があった場合、気象庁は、火山活動の状況とともに気象庁の対応状況等を記載し、臨時であることを明記した「火山の状況に関する解説情報」を発表する。
- (3) 臨時の機動観測の適切な実施
- (4) 噴火警戒レベル1におけるキーワード「平常」の表現の見直し
噴火警戒レベル1におけるキーワード「平常」の表現を、「活火山であることに留意」との表現に改める。
- (5) 気象庁ホームページの充実
- (6) 噴火速報の発表
- (7) 火山情報のより効果的な提供に向けた取り組み
観測データの急激な変化が噴火発生や噴火初期の変動を捉えたものであるかどうかを短時間で判別するためのデータ処理手法の改善など

情報伝達手段の強化

- (1) 現地における情報伝達体制の強化
地元自治体等の関係機関と連携し、登山者等に確実に最新の火山情報が伝わるよう、平素から火山関係者との情報共有を図る。
- (2) 火山情報の携帯端末への伝達
携帯端末の活用を意識した情報内容とするとともに、具体的な伝達方法について関係する事業者と調整する。

気象庁と関係機関の連携強化

- (1) 平素からの情報共有
気象庁は、火山防災協議会において、定期的に火山活動状況の情報共有を行う。
- (2) 登山者等に対する周知啓発
火山に登山するにあたっての知識や留意事項について、周知啓発活動を行う。
- (3) 気象庁の火山活動に伴う対応の明確化
火山活動の推移、及びその推移に応じた気象庁の対応について、火山防災協議会を通じて関係機関と共有する。
- (4) 火山防災対応手順の作成の推進
気象庁の対応に応じた地元関係機関の防災対応の流れについて検討し、「火山防災対応手順」として整理・共有する。
- (5) 火山活動の変化が観測された場合の連携した対応
気象庁及び関係機関は火山防災対応手順を参考に防災対応を連携して実施する。

噴火速報の創設に向けて

最終報告から抜粋

気象庁は、一定期間噴火が発生していない火山において**噴火発生**や**噴火初期の変動を観測した場合**、または継続的に噴火が発生している火山であっても**より大きな規模の噴火発生**や**噴火初期の変動を観測した場合**には、その旨を**登山者等火山に立ち入っている人々**に迅速、端的かつ的確に伝えて、命を守るための行動を取れるよう、「**噴火速報**」を新たに発表する。

- 最終報告を受け、気象庁では、**噴火発生の観測事実を伝える噴火速報**を、平成27年の夏山登山シーズンの運用開始を目標に、所用の準備を進めています。
- この速報については、検討会で検討され、名称は「**噴火速報**」とすることとしました。
- 夏山登山シーズンに運用を開始するために、XML電文のフォーマットや今後のスケジュールをお知らせいたします。運用開始に向けた準備などにご協力いただければと考えております。

噴火速報の仕様について

利用の想定：主として登山者等、火山に立ち入っている人向け（TV・ラジオ・携帯端末等を活用して伝達することを想定）

登山している山が噴火したことを登山途中・下山中等、山に立ち入っている人に迅速に伝えることにより、早期下山等の対応を行っていただくことを想定。

- 速報は新たにXML電文により提供予定。既存の火山関連XML電文に追加することとし、これまでの電文構造を基本として、XMLユーザが扱いやすいものとする。
- ヘッダ名は、VFVO56：噴火速報として新たに準備。
- 常時観測火山が発表対象。

「噴火速報」と既存の情報との関係

情報名	目的等	発表のタイミング	受け取り側の対応
噴火速報	噴火発生を観測事実を、迅速、端的かつ的確に知らせる。初めての噴火、または噴火警戒レベル引き上げの検討が必要と考えられるような規模の噴火を確認した場合。	噴火発生を確認した時刻で発表。噴煙高度と流向を確認する必要がないので、即時に発表可能なため、噴火警報発表前に発表される場合もある。	登山者等、山に立ち入っている人の避難行動(身の安全を守る)に利用。
噴火に関する火山観測報	噴火が発生した際に、発生時刻や噴煙高度等を知らせる。噴火が発生する度に発表する他、連続的な噴火の場合は定期的に発表。	噴火発生の時刻、噴煙高度と流向を確認するため発表までに5～10分程度かかる。	航空機の安全運航に利用。その他、降灰への備えにも利用。
噴火警報	火山災害軽減のため、警戒が必要な範囲を発表する警報。噴火警戒レベルの変更が必要な場合、警戒範囲・警戒事項を変更する場合に発表。	警戒範囲の決定や必要な発表手順を経て発表する。	地域防災計画で定めた避難指示・入山規制等の防災対応を行う(法的な規制)。
噴火予報	噴火警報を解除する場合等に発表。	解除に係る評価等を経て発表する。	規制等防災対応の解除。
火山の状況に関する解説情報	火山活動の状況について、臨時に発表。	地震回数、微動の発生状況、地殻変動、噴煙の状況等から評価した火山の活動状況を発表している。	火山活動状況の連絡・共有。警報発表中では、定期的な情報との区別が付かない。
	噴火警報発表後の補完として、火山活動の状況について、定期的(毎金曜日16時等)に発表。	定期的な評価結果を情報で発表している。	警報発表後の地震回数等火山活動状況の把握。
火山活動解説資料	火山活動の状況や警戒事項について図表を用いて、臨時に発表。	地震回数、微動の発生状況、傾斜計の状況、噴煙の状況等について、グラフ等により詳しく解説する。	火山活動状況の把握。
	火山活動の状況について、定期的(毎月)に発表。	定期的な評価結果についてグラフ等により詳しく解説する。	火山活動状況の把握。

噴火速報の目的、発表タイミングについては、未確定の部分があるので、変更がありうる。

「噴火に関する火山観測報」と「噴火速報」の比較

噴火に関する火山観測報

噴火速報

内容

火 山:桜島
 日 時:2014年10月02日08時09分(012309UTC)第1報
 現 象:噴火
 有色噴煙:火口上1200m(海拔6600FT)で上昇中
 白色噴煙:
 流 向:北

 高層風 0122Z
 850-18012
 700-2101
 6 500-24024
 火口:昭和火口
 今年370回目

火山名 ○○山 噴火速報
 平成△△年△△月△△日△△時△△分 気象庁地震火山部
 ** (見出し) **
 <○○山で噴火が発生>

 ** (本 文) **
 ○○山で、平成△△年△△月△△日△△時△△分頃、噴火が発生しました。

発表基準

現象として以下の事象を観測した場合
 ・噴火を確認した場合。
 ・噴火していることが推定される場合。
 ・噴火が継続している場合。
 ・継続的な噴火が停止した場合。

初めての噴火、または噴火警戒レベル引き上げの検討が必要と考えられるような規模の噴火を確認した場合。

主な用途

航空機の安全確保 その他、降灰への備えにも利用

登山者や旅行者など火山を訪れる人々の安全確保など

発表回数

	西暦	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
	平成	19	20	21	22	23	24	25	26
雌 阿 寒			2						
浅 間 山			3	14					
御 嶽 山		1							64
三 宅 島			2	4	4			1	
阿 蘇 山						38			10
霧 島 山(新燃)			1		7	13			
桜 島		42	80	755	896	994	1105	1097	562
諏 訪 之 瀬 島		70	194	216	283	51	3	276	44
発表回数合計		113	282	989	1190	1096	1108	1374	617

	西暦	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
	平成	19	20	21	22	23	24	25	26
雌 阿 寒			1						
浅 間 山			1	1					
御 嶽 山		0							1
三 宅 島			0	0	0			0	
阿 蘇 山						1			1
霧 島 山(新燃)			1		2	1			
桜 島		1	3	3	1	0	0	0	0
諏 訪 之 瀬 島		0	0	0	0	0	0	0	0
発表回数合計		1	6	4	3	2	0	0	2

赤字:
 噴火を後で確認
 した回数を含む

「発表基準」に基づき、過去の噴火事例について、検証した結果。

「噴火に関する火山観測報」は、噴火が継続している場合は6時間毎に発表、また、噴火が発生する度に発表されるため、発表回数が多くなる。新たに発表する「噴火速報」は、初めての噴火、噴火警戒レベル引き上げの検討が必要な場合に発表するので、頻繁に発表されない。

噴火速報の XML電文について

XML電文構築のポイント

- 噴火速報のXML電文は、既存の噴火に関する火山観測報をベースに構築した。
- 管理部(control)、ヘッダ部(head)については、“とりうる値”の追加のみとし、現状のタグ構成が変わらないようにした。
- 再配信の利便のために対象市町村(火山災害警戒地域)を内容部(body)に入れ込むようにした。
- 内容部(body)には、見出しや注意事項を明確化するため、噴火警報を参考に、噴火に関する火山観測報”のXML電文にはない、以下のタグを追加した。
 - <VolcanoInfoContent>: 火山関連情報の内容
 - <VolcanoHeadline>: 見出し
 - <VolcanoActivity>: 火山の活動状況等
 - <VolcanoPrevention>: 防災上の警戒事項等
 - <Appendix>: 補足
 - <Text>: テキスト要素

タグの主な構成(項目別)

項目	管理部(control)	ヘッダ部(head)	内容部(body)
名称	<Title>情報名称	<Title>標題	<VolcanoInfo>情報名称
時刻情報	<DateTime>発表時刻	<ReportDateTime>発表時刻 <TargetDateTime>基点時刻 <TargetDTDubious>基点時刻のあいまいさ	<EventTime>現象の時刻情報 <EventDateTime>現象の発生時刻
識別	<Status>運用種別	<EventID>識別情報 <InfoType>情報形態	-
官署情報	<EditorialOffice>編集官署 <PublishingOffice>発表官署	-	-
情報内容	-	<Headline> <Text>	<VolcanoInfoContent>詳細事項 <VolcanoHeadline> <VolcanoActivity> <VolcanoPrevention> <Appendix> <Text>
観測事項	-	<Information> <Kind>現象要素 <Name>要素名 <Code>要素コード	<VolcanoInfo> <Kind>現象要素 <Name>要素名 <Code>要素コード
対象地域	-	<Information> <Areas>対象火山 <Name>火山名 <Code>火山コード	<VolcanoInfo> <Areas>対象火山 <Name>火山名 <Code>火山コード <Areas>対象市町村 <Name>市町村名 <Code>市町村コード
取消			<Text>取消の内容等

噴火速報のXML電文案

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" >
<Control>
<Title>噴火速報</Title>
<DateTime>2014-09-27T03:00:12Z</DateTime>
<Status>通常</Status>
<EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
<PublishingOffice>気象庁地震火山部</PublishingOffice>
</Control>
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/" >
<Title>火山名 御嶽山 噴火速報</Title>
<ReportDateTime>2014-09-27T12:00:00+09:00</ReportDateTime>
<TargetDateTime>2014-09-27T11:53:00+09:00</TargetDateTime>
<TargetDTDubious>頃</TargetDTDubious>
<EventID>20140927120000_312</EventID>
<InfoType>発表</InfoType>
<Serial />
<InfoKind>噴火速報</InfoKind>
<InfoKindVersion>1.2_0</InfoKindVersion>
<Headline>
<Text> <御嶽山で噴火が発生> </Text>
<Information type="噴火速報" >
<Item>
<Kind>
<Name>噴火</Name>
<Code>52</Code>
</Kind>
<Areas codeType="火山名" >
<Area>
<Name>御嶽山</Name>
<Code>312</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</Information>
</Headline>
</Head>
```

- “噴火に関する火山観測報”のXML電文をベースに構成
- 赤字部分が“噴火に関する火山観測報”からの変更点

(右へつづく)

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/volcanology1/"
xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/" >
<VolcanoInfo type="噴火速報" >
<Item>
<EventTime>
<EventDateTime significant="yyyy-mm-ddThh:mm" dubious="頃" >2014-09-27T11:53:00+09:00</EventDateTime>
<EventDateTimeUTC significant="yyyy-mm-ddThh:mm" dubious="頃" >2014-09-27T02:53:00Z</EventDateTimeUTC>
</EventTime>
<Kind>
<Name>噴火</Name>
<Code>52</Code>
</Kind>
<Areas codeType="火山名" >
<Area>
<Name>御嶽山</Name>
<Code>312</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</VolcanoInfo>
<VolcanoInfo type="噴火速報(対象市町村等)" >
<Item>
<kind>
<Name>噴火</Name>
<Code>52</Code>
</kind>
<Areas codeType="気象・地震・火山情報/市町村等" >
<Area>
<Name>長野県王滝村</Name>
<Code>2042900</Code>
</Area>
- - - 略 - - -
</Areas>
</Item>
</VolcanoInfo>
<VolcanoInfoContent>
<VolcanoHeadline> <御嶽山で噴火が発生> </VolcanoHeadline>
<VolcanoActivity> 御嶽山で、平成26年9月27日11時53分頃、噴火が発生しました。 </VolcanoActivity>
</VolcanoInfoContent>
</Body>
</Report>
```

提供方法及び今後の予定

提供方法(予定)

- ◆ XML電文で提供(アデスオンライン)
- ◆ 気象業務支援センターを通じた提供
- ◆ 気象庁HPに掲載
- ◆ 防災情報提供システムで提供(都道府県等自治体向け)

今後の予定

- ◆ 一般及び防災機関等への周知広報:5月頃~
- ◆ 噴火速報の運用開始:平成27年の夏山登山シーズンを目標に運用開始予定。


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
  xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
- <Control>
  <Title>噴火速報</Title>
  <DateTime>2014-09-27T03:00:12Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>気象庁地震火山部</PublishingOffice>
</Control>
- <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>火山名 御嶽山 噴火速報</Title>
  <ReportDateTime>2014-09-27T12:00:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2014-09-27T11:53:00+09:00</TargetDateTime>
  <TargetDTDubious>頃</TargetDTDubious>
  <EventID>20140927120000_312</EventID>
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial />
  <InfoKind>噴火速報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.1_0</InfoKindVersion>
- <Headline>
  <Text><御嶽山で噴火が発生></Text>
- <Information type="噴火速報">
  - <Item>
    - <Kind>
      <Name>噴火</Name>
      <Code>52</Code>
    </Kind>
    - <Areas codeType="火山名">
      - <Area>
        <Name>御嶽山</Name>
        <Code>312</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
</Headline>
</Head>
- <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/volcanology1/"
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
- <VolcanoInfo type="噴火速報">
  - <Item>
    - <EventTime>
      <EventDateTime significant="yyyy-mm-ddThh:mm"
        dubious="頃">2014-09-27T11:53:00+09:00</EventDateTime>
      <EventDateTimeUTC significant="yyyy-mm-ddThh:mm"
        dubious="頃">2014-09-27T02:53:00Z</EventDateTimeUTC>
    </EventTime>
    - <Kind>
      <Name>噴火</Name>
      <Code>52</Code>
    </Kind>
    - <Areas codeType="火山名">
      - <Area>
        <Name>御嶽山</Name>
        <Code>312</Code>
```



```
</Area>
</Areas>
</Item>
</VolcanoInfo>
- <VolcanoInfo type="噴火速報(対象市町村等)">
- <Item>
- <Kind>
  <Name>噴火</Name>
  <Code>52</Code>
</Kind>
- <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
- <Area>
  <Name>長野県上松町</Name>
  <Code>2042200</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>長野県王滝村</Name>
  <Code>2042900</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>長野県木曾町</Name>
  <Code>2043200</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>岐阜県高山市</Name>
  <Code>2120300</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>岐阜県下呂市</Name>
  <Code>2122000</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</VolcanoInfo>
- <VolcanoInfoContent>
  <VolcanoHeadline><御嶽山で噴火が発生></VolcanoHeadline>
  <VolcanoActivity>御嶽山で、平成26年9月27日11時53分頃、噴火が発生しました。
  </VolcanoActivity>
</VolcanoInfoContent>
</Body>
</Report>
```

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
  xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
- <Control>
  <Title>噴火速報</Title>
  <DateTime>2014-09-27T03:00:12Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>気象庁地震火山部</PublishingOffice>
</Control>
- <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>火山名 御嶽山 噴火速報</Title>
  <ReportDateTime>2014-09-27T12:00:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2014-09-27T11:53:00+09:00</TargetDateTime>
  <TargetDTDubious>頃</TargetDTDubious>
  <EventID>20140927120000_312</EventID>
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial />
  <InfoKind>噴火速報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.1_0</InfoKindVersion>
- <Headline>
  <Text><御嶽山で噴火が発生したもよう></Text>
- <Information type="噴火速報">
  - <Item>
    - <Kind>
      <Name>噴火したもよう</Name>
      <Code>62</Code>
    </Kind>
    - <Areas codeType="火山名">
      - <Area>
        <Name>御嶽山</Name>
        <Code>312</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
</Headline>
</Head>
- <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/volcanology1/"
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
- <VolcanoInfo type="噴火速報">
  - <Item>
    - <EventTime>
      <EventDateTime significant="yyyy-mm-ddThh:mm"
        dubious="頃">2014-09-27T11:53:00+09:00</EventDateTime>
      <EventDateTimeUTC significant="yyyy-mm-ddThh:mm"
        dubious="頃">2014-09-27T02:53:00Z</EventDateTimeUTC>
    </EventTime>
    - <Kind>
      <Name>噴火したもよう</Name>
      <Code>62</Code>
    </Kind>
    - <Areas codeType="火山名">
      - <Area>
        <Name>御嶽山</Name>
        <Code>312</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</VolcanoInfo>

```

```
        </Area>
      </Areas>
    </Item>
  </VolcanoInfo>
- <VolcanoInfo type="噴火速報(対象市町村等)">
- <Item>
- <Kind>
  <Name>噴火したもよう</Name>
  <Code>62</Code>
</Kind>
- <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
- <Area>
  <Name>長野県上松町</Name>
  <Code>2042200</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>長野県王滝村</Name>
  <Code>2042900</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>長野県木曾町</Name>
  <Code>2043200</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>岐阜県高山市</Name>
  <Code>2120300</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>岐阜県下呂市</Name>
  <Code>2122000</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</VolcanoInfo>
- <VolcanoInfoContent>
  <VolcanoHeadline><御嶽山で噴火が発生したもよう></VolcanoHeadline>
  <VolcanoActivity>御嶽山で、平成26年9月27日11時53分頃、噴火が発生したもよう。
  </VolcanoActivity>
</VolcanoInfoContent>
</Body>
</Report>
```

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
  xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
- <Control>
  <Title>噴火速報</Title>
  <DateTime>2014-09-27T03:10:12Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>気象庁地震火山部</PublishingOffice>
</Control>
- <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>火山名 御嶽山 噴火速報</Title>
  <ReportDateTime>2014-09-27T12:10:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2013-09-27T11:52:00+09:00</TargetDateTime>
  <TargetDTDubious>頃</TargetDTDubious>
  <EventID>20130927120000_312</EventID>
  <InfoType>訂正</InfoType>
  <Serial />
  <InfoKind>噴火速報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.1_0</InfoKindVersion>
- <Headline>
  <Text><御嶽山で噴火が発生したもよう></Text>
- <Information type="噴火速報">
  - <Item>
    - <Kind>
      <Name>噴火したもよう</Name>
      <Code>62</Code>
    </Kind>
    - <Areas codeType="火山名">
      - <Area>
        <Name>御嶽山</Name>
        <Code>312</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</Information>
</Headline>
</Head>
- <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/volcanology1/"
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
- <VolcanoInfo type="噴火速報">
  - <Item>
    - <EventTime>
      <EventDateTime significant="yyyy-mm-ddThh:mm"
        dubious="頃">2014-09-27T11:52:00+09:00</EventDateTime>
      <EventDateTimeUTC significant="yyyy-mm-ddThh:mm"
        dubious="頃">2014-09-27T02:52:00Z</EventDateTimeUTC>
    </EventTime>
    - <Kind>
      <Name>噴火したもよう</Name>
      <Code>62</Code>
    </Kind>
    - <Areas codeType="火山名">
      - <Area>
        <Name>御嶽山</Name>
        <Code>312</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
</VolcanoInfo>

```

```
        </Area>
      </Areas>
    </Item>
  </VolcanoInfo>
- <VolcanoInfo type="噴火速報(対象市町村等)">
- <Item>
- <Kind>
  <Name>噴火したもよう</Name>
  <Code>62</Code>
</Kind>
- <Areas codeType="気象・地震・火山情報／市町村等">
- <Area>
  <Name>長野県上松町</Name>
  <Code>2042200</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>長野県王滝村</Name>
  <Code>2042900</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>長野県木曾町</Name>
  <Code>2043200</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>岐阜県高山市</Name>
  <Code>2120300</Code>
</Area>
- <Area>
  <Name>岐阜県下呂市</Name>
  <Code>2122000</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</VolcanoInfo>
- <VolcanoInfoContent>
  <VolcanoHeadline><御嶽山で噴火が発生したもよう></VolcanoHeadline>
  <VolcanoActivity>御嶽山で、平成26年9月27日11時52分頃、噴火が発生したもよう。
  </VolcanoActivity>
  <Text>年を平成26年に修正</Text>
</VolcanoInfoContent>
</Body>
</Report>
```

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
- <Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/"
  xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
- <Control>
  <Title>噴火速報</Title>
  <DateTime>2014-09-27T03:10:12Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>気象庁地震火山部</PublishingOffice>
</Control>
- <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>火山名 御嶽山 噴火速報</Title>
  <ReportDateTime>2014-09-27T12:10:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2014-09-27T11:53:00+09:00</TargetDateTime>
  <EventID>20140927120000_312</EventID>
  <InfoType>取消</InfoType>
  <Serial />
  <InfoKind>噴火速報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.1_0</InfoKindVersion>
- <Headline>
  <Text>噴火速報を取り消します。</Text>
</Headline>
</Head>
- <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/volcanology1/"
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
  <Text>平成26年9月27日12時00分に発表した御嶽山の噴火速報を取り消します。</Text>
</Body>
</Report>
```